

羽村市基本構想「私たちのまち“はむら”の将来像」（案）について

1. 「私たちのまち“はむら”の将来像」（案）

「私たちのまち“はむら”の将来像」は、実現を目指すまちの姿として、10年後の羽村市で暮らす「人々の様子」「暮らしと活動の様子」「まちのイメージ」を表現するものです。

市民意見聴取の結果や、これまでの羽村市長期総合計画審議会などでの意見をふまえ、将来像を定めます。

■実現を目指す将来のまちの姿（将来像に込める想い）

令和13（2031）年の羽村市。

そこには、市民、事業者、地域が、世代や立場を超えてさまざまな形でつながり、自分らしく、それぞれの良さを発揮しながら、いきいきと暮らし、働き、活動する様子が広がっています。

まちには、子どもから高齢者まで、明るく元気な笑い声があふれ、幸せや希望に満ちたたくさん笑顔が見られます。そして、時代の変化と向き合いながら、力強く、前へと進む市民、事業者、地域の活気が、暮らしやすさが続くまちを創り上げ、羽村市のさらなる未来に光を照らしています。

そのような未来を、私たちのまち“はむら”の将来像として描き、私たちは、将来に向けた歩みを進めます。

■私たちのまち“はむら”の将来像（将来のまちの姿を表すキャッチフレーズ）（案）

輝く笑顔 あふれる活気 暮らしやすさが続くまち はむら

（参考）将来像に係るキーワード

①羽村市長期総合計画審議会での意見

- ・豊かな自然を残す
- ・世代を超えて、お互いに支え合う（共助）
- ・市民と行政
- ・多様性があふれる
- ・楽しく暮らせる
- ・多摩川の活用
- ・ICTの活用
- ・笑顔あふれる
- ・子育てしやすい

②市民意見聴取などでの意見

- ・心つながり
- ・心通わせ
- ・笑顔あふれる
- ・イキイキとした
- ・やすらぎを感じる
- ・穏やかに
- ・手を取り合う
- ・協力と創造
- ・人が集い
- ・活気に満ちた
- ・一緒になった
- ・安心して
- ・快適に など

（次ページへ）

③第6回羽村市長期総合計画審議会に例示したキャッチフレーズ

- ①彩りあふれ つながる はむら
- ②支え合い 笑顔と幸せあふれる はむら
- ③つながる ひろがる ホットできるふるさと はむら

第6回羽村市長期総合計画審議会での「将来像」の審議での意見

- ・「つながり」という言葉はキーになる。
- ・抽象的なものではなく、具体的に、明確にテーマを明らかにするため、「活気に満ちた」という言葉を入れたい。
- ・人口減少や環境変化、財政状況などを踏まえると、彩や幸という悠長な言葉でなく、これからの財政運営の整備などの想いも含め、「活気に満ちた」という言葉を入れたい。
- ・例示されたキャッチフレーズは、情緒的できれいすぎる。
- ・分かりやすく、イメージしやすい言葉が良い。
- ・さまざまな解釈ができるものは避けたほうがよい。
- ・従来のを破ることや、一步前に入る意思を実現するのであれば、色を出していくべき。
- ・市民が、他に紹介したくなるくらい具体性があったものがよい。
- ・「攻め」を表してほしい。
- ・市民が主体的に取り組み、市民が誇れるまちにするイメージ。
- ・「支えあい 活気に満ちた 笑顔のあふれる はむら」を提案する。
- ・実際に住んでいる・働いている人々の思いを反映することは大切であるが、広告戦略的に考えると競合となる自治体と差別化を図るという方法もある。
- ・例えば羽村市から転出が進んでいる、青梅・あきる野市のキャッチコピーは参考になる。